

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定よって行う。

## 2. 競技者の招集について

- (1) 競技者招集場所は雨天練習場に設置する。
- (2) 招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記のように定める。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
( 棒 高 跳 )	競技開始 60 分前	競技開始 50 分前

### (3) 招集の手順

※フィールド種目については、すべて現地コールとする。【本競技会特別規定】

- ①競技者は招集開始時刻までに招集所に集合し点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピンの長さ(走高跳は12mm以下、その他は9mm以下)・衣類および競技場内への持ち込み物品等の点検を受けた後、係員の誘導に従って入場する。
  - ②2種目に出場し、競技時間や招集時間がかさなっている場合は、あらかじめ本人が文書(競技者係備え付け)を添えて申し出ること。(競技者係は、その旨を流しプロに記載し連携を図る)
  - ③招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものととして処理する。
  - ④四種競技出場者の招集については以下の要領で行う。
    - \*トラック種目:(3)の①に従って、競技者係による通常の点呼を受ける。
    - \*フィールド種目:招集開始時刻に現地に集合し点呼を受ける。
    - \*四種競技出場者が途中で棄権する場合は、本人もしくは監督が審判長に申し出ること。
  - ⑤リレーのオーダー用紙は、学校受付時にエントリー選手が記載されたオーダー用紙を配布するので、用紙に走順を記入し、招集開始時刻の1時間前までに記録室に提出する。
- (4) スタートについては、『イングリッシュコマンド、1回目に不正スタートをした者が失格』とする。但し、1年生に限り、『イングリッシュコマンド、2回目に不正スタートをした者が失格』とする。また、混成競技については、『イングリッシュコマンド、2回目に不正スタートをした者が失格』とする。スタートにおける不適切行為に関しては§165-2を適用しない。

## 3. ナンバーカードについて

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のナンバーカードをつけなければならない。但し、跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。ナンバーカードはプログラムに記載のものと同じナンバーでなければならない。(競技規則第143条⑦)
- (2) トラック競技出場者は、腰ナンバーカードをランニングパンツ右側上部やや後方につける。

## 4. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

走高跳	男子 練習 (1m35)	1m40~1m70	(5cmずつ)	1m73~(3cmずつ)
	女子 練習 (1m15)	1m20~1m45	(5cmずつ)	1m48~(3cmずつ)
四種競技	男子 練習 (1m30)	1m35~1m50	(5cmずつ)	1m53~(3cmずつ)
	女子 練習 (1m15)	1m20~1m30	(5cmずつ)	1m33~(3cmずつ)
棒高跳	男子 練習 (2m50)	2m60~	(10cmずつ)	

## 5. 用器具について

競技に使用する用器具は、棒高跳用のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいない。

## 6. 競技場使用について

- (1) ウォームアップ場は、補助競技場を原則とする。(駐車場・芝生広場での練習は一切禁止する)
- (2) 本競技場での練習は、許可された時間帯以外は認めない。
- (3) 選手・役員・補助員以外は競技場内に立ち入ることはできない。(応援はすべてスタンドで行うこと)
- (4) 本部前の通行は一切禁止する。(スタンド下通路・場外・バックスタンドのいずれかを利用すること)
- (5) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは各校で持ち帰ること。(競技場内にゴミ箱は設置していない)
- (6) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。それ以降の処置については、各校の責任において、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用すること。
- (7) 関係者以外のカメラ、ビデオでの撮影を禁止します。尚、場合によっては、目的、身分を確認させていただきます。